

(様式1)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	32	学校名	宇都宮市立 瑞穂野北小学校
----	---------------	------	----	-----	---------------

## 令和2年度 学校経営計画

### 1 教育目標

#### (1) 基本目標

「人間尊重の教育」を基盤とし、豊かな人間性をもち、自ら学び正しい判断力と実践力を身に付けた、健康でたくましく生きる児童を育成する。

#### (2) 具体目標（目指す児童像・合言葉）

・進んで学ぶ子 ・はげましあう子 ・たくましい子 <かしこく・やさしく・たくましく>

### 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

誰もが安心感の中で成長し、主体的に学び活力にあふれる学校づくりをするために、全職員は自己研鑽に励んで専門性を高め、互いにチームとして支え合うとともに、保護者や地域との協働し、特色ある教育活動を推進する。

「子供たちが安心感の中で成長する学校」「学びの面白さを実感できる学校」

「教職員が学び続ける学校」「地域とともにある学校」

### 3 学校経営の方針

#### (1) 安心と成長の場となる学校をつくる

・ 温かい人間関係の下、児童一人一人のよさと可能性が活かされ、行きがい・居がいのある学校作りに努める。

#### (2) 成長し続けるための基盤を培う

- ・ 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成のために、分かる授業・知的好奇心を喚起する授業・主体的に学び合う授業づくりに努める。
- ・ 認め・褒め・励ます指導により、自信や自己有用感の向上を図るとともに、道徳教育の充実を図り、困難に負けない強さと他への思いやりの心を育てる。
- ・ 運動を通して体力の向上を図るとともに、心身ともに健康に生活できる習慣の定着及び危機回避能力の育成に努める。

#### (3) 未来を生き抜く力を養う

・ 社会の一員として生きていく基礎を培うため、英語教育や情報活用能力を育成する教育を充実させる。

#### (4) 多様な児童の状況に応じた指導・支援を行う

- ・ 一人ひとりの教育的ニーズに対応するために、多様な学びの場を提供できるようにするとともに、教職員の指導力の向上を図る。
- ・ 家庭や地域、諸機関と連携し、いじめや不登校対策を強化する。

#### (5) 学校のチーム力の向上を図る

- ・ 新たな教育課題に積極的に取り組み自己研鑽に努めるとともに、互いに学び合い、応え合える学校組織を作る。
- ・ 教職員が、心身ともに健康な状態で職務を遂行することができるよう、健康管理に留意するとともに、勤務時間を意識した働き方を推進する。

#### (6) 地域とともにある学校づくりを推進する

・ 体験活動や交流活動を通して地域を愛する心を育てるとともに、社会に参画する意識と

協働する態度を育てる。

- ・ 児童の育成について思いを一つにし、家庭・地域と連携しながら、信頼される学校作りに努める。

[瑞穂野地域学校園教育ビジョン]

9年間の連続した学びの中で、  
生きる力（確かな学力、健やかな体、豊かな人間性・社会性）を育てる小中一貫教育

#### 4 教育課程編成の方針

##### (1) 基本方針

- ・ 知・徳・体の調和のとれた児童の発達を目指すため、各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の相互の学びの関連を図りながら、児童の実態と特性を十分配慮し、心身共に健全な育成を図れるような編成を行う。
- ・ 地域学校園教育ビジョンである『生きる力』を育む教育課程となるよう、9年間の学びの連続性を考慮した編成を行う。
- ・ 保護者や地域住民の願いを踏まえ、本校の教育の目指すところを共有し、地域の教育力が生きる編成を行う。

##### (2) 留意点

- ・ 昨年度の各種調査等の結果を踏まえ、知・徳・体の課題を明確にして指導の重点化を図る。
- ・ 教科横断的な視点を持ち、各教科の学習内容に関連する道徳科・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動の実施内容や時期を考慮する。
- ・ 地域の教育資源を把握し、教育活動の中に積極的に取り入れる。
- ・ 地域学校園児童生徒の課題から、今後育てていきたい力を明確にし、共通実践等を取り入れる。

#### 5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

##### (1) 学校運営

○ 小規模校の特色や地域の教育資源を生かした教育活動、小中が連携した継続的な教育活動により、地域とともにある学校づくりを推進する。

- ・ 業務の内容を見直し、効率化を図ることで、児童とともに過ごす時間を大切にするとともに、教職員が持てる力を有効に発揮し、協働する学校づくりに努める。

（学校課題）「自ら考え、判断し、行動できる子供の育成

～自他の命を守るための実践力を育てる安全教育を通して～

##### (2) 学習指導

「知的好奇心を喚起し、主体的に学び合うとともに、学習内容が確実に定着する授業の工夫」

- ・ 児童とともに本時のめあてを設定したり振り返りを行ったりする学習活動を工夫する。
- ・ 教材・教具を工夫したり、深く考え学び合える学習の場を工夫したりする。
- ・ 安心して考えを伝え合い、互いに高め合える学級集団づくりを目指す。

##### (3) 児童生徒指導

「自信をもって活動し、困難に負けないたくましい心をもった児童の育成」

- ・ 児童のよさを見取り、「認め・褒め・励ます」指導を実践する。
- ・ 課題を克服する充実感や達成感を味わわせたり、粘り強さや自律心を育んだりする学習活動を工夫する。

##### (4) 健康（体力・保健・食・安全）

「生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質や能力の育成」

—自分の健康に関心を持ち、正しい知識を身に付け、主体的に取り組む態度の育成を目指して—

- ・ 運動に親しみ、自己の運動能力の向上を目指そうとする意欲を育てる。
- ・ 自分の成長や健康に関心を持ち、生活習慣や食習慣の改善を図ろうとする態度を育てる。
- ・ 自分たちを取り巻く様々な危険に対する理解を深め、危険を予測・回避する能力を育てる。

## 6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

## 7 特色ある学校づくり等に関する取組

### (1) 育てたい資質・能力

「縦割り班活動や地域の人々とのふれあいを生かした豊かな心の育成」

- ① 地域との様々な交流活動を通して、人と関わる力、感謝の心を育てる。
- ② 縦割り班活動を通し、役割を自覚し責任をもって取り組む態度、協働する態度を育てる。

### (2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

#### ① 地域の教育資源の活用と交流

ア 農産物や史跡マップの作成，人材に関する情報収集

イ 地域との交流活動の充実

- ◇農業栽培体験      ◇瑞北フェスティバルふれあい活動      ◇感謝の会
- ◇クリーン作戦      ◇蛍の飼育      ◇繭玉作り      ・ふれあい給食      ・あいさつ運動

#### ② 縦割り班活動

- ・ 結団式      ・ 稲作体験      ・ 縦割り班共遊      ・ 縦割り班読書会      ・ 縦割り班清掃
- ・ 縦割り給食      ・ 縄跳び大会      ・ 6年生を送る会

## 8 本市の重点施策・事業との関連

### (1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

#### ① 基本的考え

児童が、地域に対する愛着を深め、将来地域社会に貢献できるようになるためには、地域の自然や人材などの教育資源を活用し、体験を通して学ぶ機会の充実を図ることが必要である。そのために、地域住民の学校に対する思いを受け止め、地域と学校が児童への教育に対する考え方を一にし、円滑な連携を図ることができるよう開かれた学校づくりを推進する。

#### ② 主な取組

- ・ 授業等における地域の人的資源の積極的活用
- ・ 学校だよりやホームページ等による情報の発信・提供
- ・ 地域に開放したフリー参観の実施
- ・ 魅力ある学校づくり地域協議会との連携による学校支援ボランティアの募集と活用

### (2) 小中一貫教育・地域学校園

#### ① 基本的考え

学校園内の教職員が、瑞穂野地域の児童生徒の実態を理解した上で、目指す児童生徒像を共有し、9年間を通した継続的・系統的な指導により、「確かな学力」「健やかな体」「豊かな人間性・社会性」を育むとともに、児童生徒が地域に愛情をもって連携していこうとする態度を育てる。

## ② 主な取組

- ・ 学力調査結果の分析と共有
- ・ 「学習のきまり」や「家庭学習」についての系統的な指導
- ・ 体力テスト結果の分析と共有，補強運動の実施
- ・ 各種運動検定表の改善
- ・ 衛生面や感染症予防の指導の共通化による保健指導の充実
- ・ 学校園食育だよりの発行やみずほの献立の実施等，統一した食育指導の充実
- ・ インクルーシブ教育に関する研修
- ・ 読書指導・学校園図書だより・家読の推進
- ・ あいさつ運動やホタルの飼育等の交流活動
- ・ 密接な情報交換によるいじめの防止や規範意識の涵養，効果的な支援方法の検討

## (3) 不登校対策

### ① 基本的な考え

新たな不登校を生まないために最も大切なことは，学校が安心して過ごせる児童の居場所であることである。教職員がそれぞれの立場で児童に関わり，児童・保護者と信頼関係を築き，情報を共有し，チームとして対応することで，それは実現されると考える。

### ② 主な取組

- ・ 違いや失敗を認め合う学級づくり
- ・ 自己肯定感を高める日々の言葉かけ
- ・ 「欠席状況共有シート」等を活用した児童の状況の共有
- ・ 欠席した児童への電話連絡，家庭訪問，日々の言葉掛けの確実な実施
- ・ 不登校対策担当教員を中心とする組織的対応
- ・ 保護者との積極的な関わりによる不登校要因の分析と支援